| 学校番号 | 3020 |
|---|---|

# 令和８年度　商業科

| 教科 | 商業科 | 科目 | 簿記 | 単位数 | ４単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 簿記（TAC 出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 全商簿記 3 級論点別ニューステップアップ問題集（TAC 出版）<br>全商簿記 2 級論点別ニューステップアップ問題集（TAC 出版）<br>2025 年度版　日商簿記検定模擬試験問題集　3 級（実教出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書を中心に取引の記録・計算・整理の考え方とその方法について学習し、問題集やプリントなどを活用しながら知識・技術の習得をしていきます。
・７月に受験する日商簿記検定初級、２月に受験する日商簿記検定３級に向けて、主体性を持ち、学習の進め方などを各個人で工夫しながら粘り強く学習に取り組んでいきましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技術】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術（特に仕訳や財務諸表の作成）を身につけようとする。
【思考力、判断力、表現力等】
取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適切な取引の記録と財務諸表の作成に主体的に取り組む態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけようとする。 | 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見出し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 | 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上をめざして自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 簿記の基礎 | 1　簿記の基礎<br>2　資産・負債・純資産と貸借対照表<br>3　収益・費用と損益計算書<br>4　取引と勘定<br>5　仕訳と転記<br>6　仕訳帳と総勘定元帳<br>7　試算表<br>8　精算表<br>9　決算 | a:簿記の原理について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につける。<br>b:簿記の原理について学び、その意義や必要性について考え、表現する能力を身につける。<br>c:簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | ワークシート<br>観察シート |
| | 取引の記帳（その1） | 10　現金・預金などの取引<br>11　商品売買の取引<br>12　掛け取引<br>13　手形の取引<br>14　その他の債権・債務の取引<br>15　固定資産の取引<br>16　個人企業の資本の取引<br>17　販売費と一般管理費、税金の取引 | a:各取引の記帳について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につける。<br>b:各取引の記帳について妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて判断し、表現する能力を身につける。<br>c:各取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>観察シート | ワークシート<br>観察シート |
| | 決算（その1） | 18　決算整理（その１）<br>19　８桁精算表<br>20　帳簿決算 | a:決算の手続きについて理論と実務とを関連づけて理解するとともに、財務諸表の作成など関連する技術を身につける。<br>b:決算の手続きについて妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて判断し、表現する能力を身につける。<br>c:決算の手続きについて自ら学び、適正な財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>観察シート | ワークシート<br>観察シート |
| 2学期 | 取引の記帳（その2） | 24　特殊な手形の取引<br>25　有価証券の取引<br>26　本支店会計<br>27　最近の実務に広がる取引 | a:各取引の記帳について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につける。<br>b:各取引の記帳について妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて判断し、表現する能力を身につける。<br>c:各取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>観察シート | ワークシート<br>観察シート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 決算（その２） | 28　決算整理<br>（その２） | a:決算の手続きについて理論と実務とを関連づけて理解するとともに、財務諸表の作成など関連する技術を身につける。<br>b:決算の手続きについて妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて判断し、表現する能力を身につける。<br>c:決算の手続きについて自ら学び、適正な財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>観察シート | ワークシート<br>観察シート |
| ３学期 | 株式会社の取引 | 29　株式会社の取引と財務諸表 | a:株式会社における各取引の記帳及び財務諸表の作成について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につける。<br>b:　株式会社における各取引の記帳及び財務諸表の作成について妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて判断し、表現する能力を身につける。<br>c:　株式会社における各取引の記帳及び財務諸表の作成について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>観察シート | ワークシート<br>観察シート |
| | 会計帳簿と帳簿組織 | 23　会計ソフトウェアの活用 | a:取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解するとともに、関連する技術を身につける。<br>b:会計ソフトウェアの活用方法について思考し，記帳の合理化を達成する方法を考え、表現することができる。<br>c:　会計ソフトウェアの活用に関心を高め，その運用方法について主体的かつ協働的に考える。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>観察シート | ワークシート<br>観察シート |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度